

バルカーテクノロジーニュース 冬号発刊にあたって



皆さまには、日頃から Valqua Technology News をご愛読いただき、心より御礼を申し上げます。
謹んで2024年新春のご挨拶を申し上げます。

このたびの能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでおくやみ申し上げますとともに、被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

現在の世界情勢は、COVID-19の猛威も終息の様相を呈しており、日常生活においても通常を取り戻してまいりました。一方で、私たちの周りに目を向けてみると、この数年間で様々な分野におけるデジタル化が急速に進み、データマネジメント技術の進化によって様々なデータが可視化される世の中へ変わりつつあります。また、このデータドリブンの社会を支える技術においては絶え間ない開発競争が進み、例えばAIについて見てみると社会の様式そのものにも影響を与える技術レベルにまで進化が進みました。また、AI技術と密接な関係にある半導体についても、エネルギー効率向上、メモリ容量の拡大、量子コンピューティングへの適用といった要求に向け、微細化、積層化などのテクノロジー開発も留まるところを見せません。

このような事業環境の下で、当社は昨年度から開始した2か年中期経営計画“New Frontier 2023” (NF2023) を3月で終え、4月より2027年の創業100周年に向けた3か年中期経営計画の実行に移ります。コーポレートトランスフォーメーション (CX) の旗印のもと、H&Sの両輪で新たな価値を創造し続けることを目指してきたNF2023では、研究開発部門においてもシールエンジニアリングと材料設計技術を活用した新規商品開発 (M&D)、オープンイノベーションを活用した新規技術獲得のための研究開発 (R&D) を両軸とする新体制で活動してまいりましたが、現在の事業環境の中で新たな価値を創造し続けるためには、それらに加えてデジタル技術の基盤強化が強く求められている状況にあると認識しています。そのために、当社研究開発部門としても、創業100周年とその先を見据え、M&Dによるソリューション活動とR&Dによる新規技術獲得を機敏に実行するためのデジタル技術インフラを構築し、社会の豊かさと地球環境にも貢献するソリューションを提供していくことに挑戦してまいります。

今号のテクノロジーニュースでは、ソフトとハードの両面に関わる当社研究開発成果の事例として、様々な設備の点検記録とクラウド上での効率的かつ一体的な管理を実現するサービス“MONiPLAT”への付加機能として実装されるAI技術「Algo Aye」、幅広い用途で使用されるPTFE加工品の溶接精度を向上させるための「光弾性を用いた状態分析技術」、過酷な使用環境に耐えうる油圧機器用パッキン開発のための「熱可塑性ポリウレタンエラストマーの劣化機構解析」、各国での規制対象となる物質を含有しない「ふっ素系エラストマー」、食品や医薬品業界における製造プロセスで使用される製品貯蔵などのタンク内部の洗浄ツール「回転式スプレーボール」を取り上げていますが、これらの情報が皆さまのお役に立つことが出来ることを願っています。

当社が顧客の皆さまの生産現場における安全安心はもとより、より良き地球市民として社会貢献につながる製品・技術開発を行ってまいりたい決意をお伝えし、今後とも、当社製品・サービスへのご愛顧とともに、このバルカーテクノロジーニュースをご愛読賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役CTO 青木 睦郎